

## 岡部定一郎「福岡城寸描」(39)

### 黒田24騎小傳(12)

#### 桐山丹波丹齋

生没年 : 1554~1625年  
位置付 : 大譜代  
禄高 : 6千石  
別名 : 孫兵衛、丹波守、信行

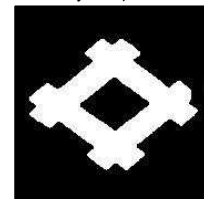
桐山家は、飛騨高山の北西に位置する桐山村の発生である。幼い頃より黒田官兵衛（後の如水）の父職隆に士分として召し抱えられ、官兵衛、長政、忠之と4代にわたって仕えた。

桐山丹波は、温厚な分別ある性格であったと伝えられている。更に武勇にも優れ、黒田家の主だった戦いにおいても勲功をたて、中津入国後の1千石から段々に出世して、晩年には中老に列せられ6千石を拝領した。特に、長崎街道開通事業に尽力し、母里太兵衛と協力して、難所冷水峠を開いた。しかし、この二人は、ある出来事で不仲となり、それ以来お互いに口をきかない時期が30年も続いたと言われている。1611年、筑前六宿の一つであり、黒田藩にとって重要な山家(やまえ)宿を建設して、初代代官を務め、この地で亡くなった。

お墓は、筑紫野市山家にある。



家紋



井桁

桐山丹波丹齋の博多人形(ふくおかフィナンシャルグループ1階に展示)